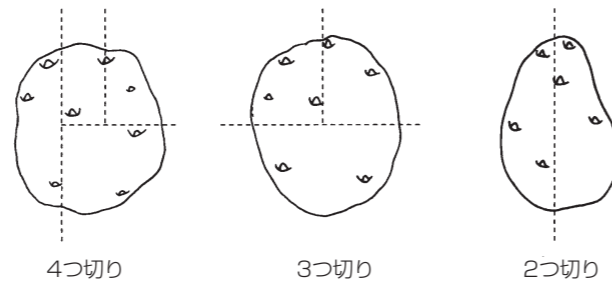


### 畑の準備

- ネオコンボ 300kg/1a
  - 苦土セルカ(有機石灰) 5kg/1a
- 植え付け1カ月前に土とよく混合してください。

### 種まき

- 必ず発芽しているイモを使用してください。
  - 用意した種芋の芽がすでに出ているのなら、そのまますぐ植えても構いません。
  - 芽が出ていない種芋が手元にある場合、低温で管理しつつ、弱い光が当たる場所に置き続ければ発芽するのでそれを植えてください。
  - 種は大きすぎると芽が必要以上に出たり、腐りやすくなったりします。下のサイズに等分します。
- |            |      |
|------------|------|
| 100g以上の種芋  | 4等分  |
| 80g~60gの種芋 | 2等分  |
| 40g~20gの種芋 | そのまま |
- 種芋の等分の目安は1片30g~40gです。



- 切った種芋は、切り口を乾燥させるために2~3日、日に当てて緑化し切り口を乾燥させる。急ると土中で腐る確率が高くなります。
- 乾燥した切り口を下に向けて植えてください。
- 排水のよい土でなければ土中で腐るため、水はけの悪い場所は水の量を加減してください。

### 間引き

- 一般的にジャガイモの場合、間引きではなく、芽かきと呼びます。あらかじめ種芋を等間隔に植えているので、いくら芽を取り除いても株の絶対数が変わらないからです。
- 一つの種芋で芽を1本だけ残す場合、大きく立派な芋ができますが、芋の数は少なくなります。
- 一つの種芋で芽を2本だけ残す場合、小さくかわいい芋ができます。芋の数は多くなります。

### 肥料

草丈10cmの頃、太い芽を2~3本残し間引き、野菜化成を5kg施用してください。

### 防除

病害虫名	耕種防除	農薬による防除
アブラムシ類	光反射テープを畝上に張る	オルトラン水和剤(1,000倍) 7日前まで4回
テントウムシダマシ	捕殺を行う	ディブテレックス乳剤(1,000倍) 14日前まで6回
ヨトウムシ	早期発見し、分散前に捕殺する	DDVP乳剤50(1,000倍) 前日まで6回

### 収穫

- 葉が黄色く朽ちてきた頃、株ごと引き抜いて、芋を収穫してください。
- 土が乾いている時には傷付けないように丁寧に掘ってください。

### 注意事項

- 肥料が多いと無駄にアブラムシがつきやすくなります。もともと地上部は種芋の養分で成長するので、少なくしてください。
- 過剰な水分を与えると腐ります。気をつけてください。
- 連作障害がでる恐れがありますので3年ほど休んでください。

裏面は稲作(育苗)を掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.239 平成23年3月14日発行

### 田植時期 5月中旬を目安に苗作りを!!

### ◆早播きは避けましょう

- 高温期登熟による品質低下の防止
- 無効分けつの防止

### 育苗のポイント

1. うすまきにし、丈夫な苗を作る。(ハトムネ状態でまくこと)
2. 播種前に、床土に十分灌水しておく。
3. 覆土は、丁寧に均一に行う。
4. 出芽は、適温を守り、あまり長い間積みすぎないこと。
5. 播種時に必ず苗立枯病予防を行う。(ダコレート水和剤 400~600倍、育苗箱1箱当たり0.5リットルを灌水)
6. 灌水はよく晴れた昼間(午前10~午後3時)に行う。
7. 急激な温度変化は避け、苗の生育に合わせた管理を行う。

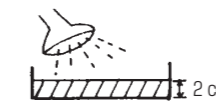
#### ハトムネ状態

芽が1mm程度出ている状態



### ① 土入れ

床土を入れ、たっぷり灌水する。



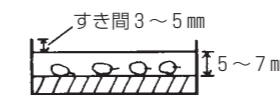
### ② 播種(フクレ粉)

コシヒカリ……150g(1.5合)/1箱  
その他の品種……180g(1.7合)/1箱  
\*ダコレート水和剤で苗立枯病予防を!



### ③ 覆土

均一にまく。覆土後の灌水は×



### ⑤ 緑化

トンネルはできるだけ高く、幅広くし、温度変化を少なくすることが大切。  
初期には強い光は厳禁。初葉が1cmになったら徐々に緑化する。

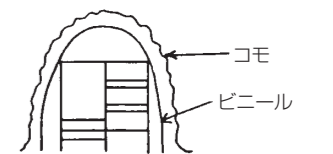
### ⑥ 硬化

- 本葉が2枚出はじめた時期から外気、外温、直射日光に慣らす。
- 田植え4~5日前頃から実施。目標 2.5枚

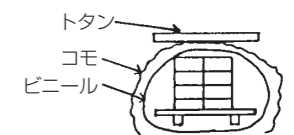
### ④ 出芽

あまり長く積みすぎるとカビの恐れがあるので注意する。

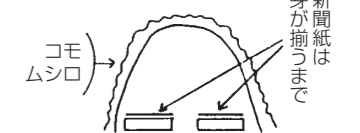
[育苗器]  
32℃で  
3日程度



[それ以外の方法]  
播種後4日間程度



[緑化ハウス使用]  
夜は保温に努める



### 温度管理と水管理

温度管理	(緑化芽が1cmまで)	(緑化期間)	(硬化期間)
育苗器	32℃	昼: 22~25℃	昼: 18~20℃
それ以外	最高30℃ 最低15℃	夜: 15~18℃	夜: 12~15℃

\*長時間換気する場合は、太陽の光と逆の側をあけるようにする。

水管理 灌水はよく晴れた昼間に行い、午後3時以降はしない。夕方水滴がついていけばしない。

裏面はじゃがいも栽培を掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.239 平成23年3月14日発行